

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成  
21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 日 作成

事務事業名		総合運動公園第4駐車場整備事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局	課長名 西川正則				
	施策	20	生涯学習の推進			所属課	生涯学習課	担当者名 坂井 竹志				
	基本事業	70	生涯学習・スポーツ施設(環境)の整備			所属班	スポーツ振興班	(内線) 1507				
予算科目	会計	1	款	10	項	6	目	2	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果	
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 21年度で終了	<input type="checkbox"/> 22年度から開始	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度)	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度)						

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	大会時の慢性的な駐車場不足を解消するために、プール跡地に駐車場を整備する。第4駐車場を整備することにより公園全体で約240台が駐車可能となり、大会時最大来園見込台数の約80%(第1~3駐車場駐車台数(137台)+第4駐車場駐車台数(100台)/最大来園台数(300台見込))をカバーできる。また、第1・2駐車場の利便性も大幅に向上し、利用者が使いやすい施設となる。
【業務の流れ】	設計書作成、入札準備、施工管理、検査事務、支払事務
【主な予算費目】	委託料、工事請負費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	利用者から駐車場新設要望があがっていた。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
第1~第4駐車場連絡道測量設計委託、総合運動公園整備工事(駐車場整備)、第4駐車場外灯工事、野球場トイレ改修工事	
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
⇒ア整備面積	m <sup>2</sup> イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
総合運動公園利用者	⇒ア利用者数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
利用者が大会時などに駐車スペースを探すのに苦労せずにすむ。	⇒ア大会主催者・利用者からの駐車場に関する苦情件数 件
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 利用者に二重予約で迷惑をかけず、利用者が使いたい施設を使えるように設定した。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア	m <sup>2</sup>			2508	2508			
	イ								
⑤ 対象指標	ア	人			45746				
	イ								
⑥ 成果指標	ア	件			2	0			
	イ								
投資 入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円				29,442		
		地方債	千円			28,500			
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円			1,500	1		
	(A) 事業費計	千円		0	0	30,000	29,443	0	0
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
人件 費	正規職員従事人数	人			1	3			
	延べ業務時間	時間			80	125			
	(B)人件費計	千円	0	0	318	498	0	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	30,318	29,941	0	0	

総トータルコスト 全体計画 ~ 年度	
(期間限定複数年度のみ記載)	
	0
	0
	0
	0

事務事業名	総合運動公園第4駐車場整備事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	-----------------	-----	----------	-----	-------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ ・施設利用者すべてが受益者となる。 ・施設利用者には、施設使用料とは別に本整備工事に係る負担を求めることはできない。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷ 行政が直接行なう事業である。

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

・連絡道を設置し第1、第2駐車場の利便性向上を図る予定であったが、隣接地権者の理解が得られず工事を実施できなかった。測量設計委託発注前に地権者へ説明を行い理解を得るべきであった。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止     休止     目的再設定     事業統廃合・連携     事業のやり方改善(有効性改善)  
 事業のやり方改善(効率性改善)     事業のやり方改善(公平性改善)  
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

事業完了

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策